
一般社団法人北海道農業法人協会
第30回会員総会資料

令和7年2月10日（月）
ホテルポールスター札幌

一般社団法人北海道農業法人協会 第30回会員総会 議案第1号
令和6年度事業報告及び収支決算の承認について

別紙、令和6年度事業報告及び収支決算について承認を求める。

以上提出する。

令和7年 2月10日

一般社団法人北海道農業法人協会
代表理事会長 藤城 正興

令和6年度事業報告

農業をめぐる情勢

令和6年の本道の気象は、例年に比べ気温の変動が大きく、特に夏場の猛暑日が少ない傾向がありました。一方、秋には台風の影響を受けず比較的安定した気候となりました。6月から8月にかけては適度な降雨があり、一部で過湿の懸念があったものの、多くの地域では作物に良い影響を与えたとされています。昨年ほどの高温には見舞われなかったことだけでなく、多くの生産者が気候変動に対しての対策を講じていたこともあり、「令和5年と比較すると上向いた」年だったと言えます。

農業経営をめぐるのは、世界的な穀物需給のひっ迫や原油価格の上昇などから、高騰している飼料や肥料、燃油等をはじめとする生産資材の価格の高止まりは収まることを知らず、生産者は高いコスト負担を余儀なくされています。それに上乗せして2024年の輸送問題に関しても顕在化し、物流の会社から生産物の輸送を急に断られるケースも多々見受けられるようになり、問題が山積の状況が依然続いています。

年初まで生産抑制の取組が進められたものに関して、急に方針転換が行われたことで、今まで何とか耐えてきた酪農生産者が困惑する状況ともなりました。クラスター事業初期の施設・機械投資の償還も始まることも相まって、次の世代に繋ぐには困難な状況は未だ広がっています。

水田農業においては、作況指数と現状が乖離している印象を受けざるを得ない、コメ不足による価格の上昇が目立つ年となりました。それとともに半世紀にわたり続けられている、水田活用の直接支払交付金の交付対象水田等の見直しが進められていますが、地域や生産者においては、持続可能な水田農業の将来像の明確化が必要とされており、早めに方針を打ち出すことが望まれています。そのような状況下にて地域計画も来年から始まりますが、将来について話し合いたい生産者も居る中で、なかなか現場に話がおりて来ず困惑が続いています。

このように農業全体が難しい環境に置かれるなか、世界の食料需給等をめぐるリスクの顕在化に伴い、国における中・長期の農政の基本的な方向性を示す「食料・農業・農村基本法」の改正に関して、食料安全保障の確立や環境等に配慮した持続可能な農業への転換などを基本理念に、法改正や施策の具体化に向けた具体的な検討が進められています。

こうした国民の期待に応える農業、持続可能な農業経営は、我が国における食料の安定供給に重要な役割を担う北海道が先頭に立って実現していかなければなりません。そのためには、行政や関係団体等の支援・協力も得ながら、地域農業を担う生産者が、これまで培ってきた高い技術力と経営管理能力、さらには、そのネットワークを最大限に生かし、経営環境の変化に適切に対応していくことが必要となります。

当協会においても、本道農業、生産者にとって重要な情報を収集・共有し、酪農部会や水田部会、畑作園芸研究会なども活用しながら、課題の解決に向けて引き続き全力で取り組んでいくことが求められています。

活動フラッシュ！

■第29回定期総会&農業法人経営セミナー2024

令和6年2月21日（水）ニューオータニイン札幌にて、第29回一般社団法人北海道農業法人協会会員総会を開催いたしました。

会員総会では、令和5年度事業報告として一年間の活動報告を行った後、各関係機関と連携して会員の意見をもっと反映した事業内容を進めて行く旨が小椋会長よりなされ、すべての議案が承認されました。そして任期満了に伴い有限会社ドリームヒルの小椋幸男代表が退任され、新たに株式会社輝楽里の藤城氏が会長を引き受けることとなりました。

農業法人経営セミナー2024は東大教授の鈴木宣弘氏をお迎えし「これからの北海道農業が進むべき道」というテーマで、プロの目線で北海道の農業が抱える問題点をお話いただき、それぞれの参加者が持続的な農業について改めて考えるきっかけとなりました。



■部会活動

水田部会は例年通り農林水産省北海道農政事務所、北海道農政部、ホクレン農業協同組合連合会、北海道農産物集荷協同組合にご参集いただいたの意見交換会を行いました。そして初めて試みとして、話題の肥料を使って米の生産している生産者のところに視察に行き、現場における現状と課題を意見交換いたしました。

酪農部会も例年通り複数回意見交換を行いました。ホクレンの徳田副会長、中央会の小椋副会長にご参加いただき、今の酪農情勢が少しでも上向く為の話し合いも新たに設けられました。その他にも日本農業法人協会の酪農研究会が北海道で開催され、北海道と本州の状況や意識の違いについて再確認でき、今後の活動の方向性についても認識を新たにいたしました。

今年新設した畑作園芸研究会は、複数回のオンラインセミナーと道内の視察研修を行い、前述の両部会ともに意見や要望をあげるための活動をはじめています。



■連携活動 公益社団法人日本農業法人協会

今年度の北海道東北農業法人 WEEK は8月27日に秋田県にて開催をいたしました。あいにく台風が接近しており、28日の現地視察は叶いませんでしたが、30周年ということで盛大な式典とフォーラム、交流会が催されました。WEEK メイン講演では「バスケットで秋田を元気に～2026年Bプレミアへの展望～」をテーマにバスケットボールチーム秋田ノーザンハピネッツ代表 水野勇気社長をお呼びして、地域との連携や食育等の話を幅広くお聞かせいただきました。2025年は北海道協会も同じく30周年と記念の年になりますので、学ばせていただくことが沢山ありました。次のWEEK 当番県は青森県、8月の下旬を予定しています。



今年の大きな連携した取り組みとして、日本農業法人協会酪農研究会と北海道協会の酪農部会が共催して研修と視察を札幌と江別にて行いました。その他主催の春季・夏季セミナーや次世代農業サミットに参加をして、全国各地の農業者との交流を積極的に行っております。

■セミナー事業の取組み

昨年に続き、リアルとオンライン両方でのセミナー活動を開催しました。改めてオンラインの便利ではあるが、リアルで直接話す機会の大切さ、その場所を提供することの重要性を考えさせられる年となりました。(詳細は後ページの「3 セミナー、研究会、地域ネットワーク等連携活動」をご参照ください)。新たな事業としてMG研修等も始まりました。



北海道次世代農業サミットも第6回目となりました。

令和6年11月20日(水)、滋賀県の株式会社フクハラファーム代表取締役、福原悠平氏を講師にお招きし、全道各地より農業者や関係機関から120名を超える方にご参加いただき、ホテル札幌ガーデンパレスにて「今一度コスト意識について考える—自分たちの優先順位—」をテーマに開催しました。メイン講演では緻密なデータによるコスト削減や、農地の集積について等、普段他の人が触れづらい部分についてお話いただきました。サミット後半では、パネラーに株式会社株式会社三木田の三木田佑介さん、有限会社ジェイファームシマザキの島崎みゆきさん、コーディネーターに株式会社食農夢創の仲野真人さんをお迎えし、パネルディスカッションしていただき、それを受けて農業者が班に分かれてグループディスカッションを行い、最後にグループより代表を一人ずつ出して発表いただきました。テーマはコストについてでしたが、結局は人間力という発表で会場が一つになりました。それぞれ活発な意見を発表し、会場は終始熱気にあふれておりました。



会務・活動報告

1 会員（令和6年12月31日現在）

(1) 正会員：300 法人

(2) 賛助会員：3 法人

一般社団法人北海道農業会議 公益財団法人北海道農業公社 一般財団法人 HAL 財団

(3) 北海道農業サポータークラブ会員：68 社

1. JA 三井リース 株式会社
2. 株式会社 北洋銀行
3. 株式会社 アグリドック
4. 株式会社 ノマド
5. ピーエス 株式会社
6. 株式会社 北海道協同組合通信社
7. 明治飼糧 株式会社
8. 株式会社 北海道アルバイト情報社
9. 株式会社 北海道銀行
10. 株式会社 サングリーン太陽園
11. 株式会社 丹波屋
12. シンジェンタジャパン 株式会社
13. 株式会社 ノザワ フラノ事業所
14. 日本曹達 株式会社
15. 税理士法人 池脇会計事務所
16. 北海道日紅 株式会社
17. ファームエイジ 株式会社
18. 松田孝志税理士事務所
19. 菱中産業 株式会社
20. 株式会社 GB 産業化設計
21. ホシザキ北海道 株式会社
22. 株式会社 日の丸産業社
23. 税理士法人 アンビシヤス・パートナーズ
24. 株式会社 浜口微生物研究所
25. 北海道信用農業協同組合連合会
26. 農林中央金庫 札幌支店
27. 株式会社 コハタ
28. クミアイ化学工業 株式会社
29. 日本農薬 株式会社
30. 東北容器工業 株式会社
31. 医療法人 共生会 川湯の森病院
32. ロイヤルインダストリーズ 株式会社
33. 三井住友ファイナンス&リース 株式会社
34. 共栄火災海上保険 株式会社
35. 株式会社 ノースブランズ
36. 税理士法人 薄井会計
37. 株式会社 マイナビ
38. 日産化学 株式会社
39. 税理士法人 小島会計
40. 株式会社 安藤通商
41. アンビシヤス総合法律事務所
42. SucSeed 株式会社
43. 株式会社 大学農園
44. 石屋製菓 株式会社
45. 第一生命保険 株式会社札幌総合支社
46. 第一生命保険 株式会社
47. 株式会社 トーモク
48. ホクレン農業協同組合連合会
49. 株式会社 愛農
50. 甘彩六花 株式会社
51. 王子コンテナ 株式会社
52. ユアサ商事 株式会社
53. 株式会社 須田製版
54. 東京海上日動火災保険 株式会社
55. 株式会社 旭創
56. BASF ジャパン 株式会社
57. 株式会社 日本旅行北海道
58. 株式会社 バイオマスソリューションズ
59. 北海道エア・ウォーター・アグリ 株式会社
60. 株式会社 フェイガー
61. 株式会社 タイミー
62. フルタ電機 株式会社
63. 日本タルク 株式会社
64. 西村あさひ法律事務所・外国法共同事業
65. アメリカン・エキスプレス・インターナショナル
66. 株式会社 BG
67. 一般社団法人北海道化学事業創造センター
68. 株式会社 AGRISMILE

2 会議の開催

(1) 総会及び法人経営セミナー

1) 第29回会員総会

- 開催日：令和6年2月21日
- 場所：ニューオータニイン札幌
- 出席者：〔正会員〕294社中45社出席 委任状議決権行使届出書110通
- 協議事項：①令和5年度事業報告及び収支決算の承認について
②令和6年度事業計画（案）及び収支予算（案）の設定について
③令和6年度会費の賦課及び徴収方法について
④理事・監事の選任について

2) 農業法人経営セミナー2024 「これからの北海道農業者が進むべき道」

- 講師：東京大学大学院 農学国際専攻 教授 農学博士 鈴木宣弘氏

(2) 理事会

1) 第1回（旧体制）

- 開催日：令和6年1月12日
- 場所：有限会社ドリームヒル（上士幌町）／ZOOM
- 主な協議事項：第29回総会・セミナー開催について

2) 第1回

- 開催日：令和6年2月21日
- 場所：ニューオータニイン札幌（札幌市中央区北2条西1丁目）
- 主な協議事項：理事・監事の選任について

3) 第2回

- 開催日：令和6年2月22日
- 場所：道特会館（札幌市中央区北2条西2丁目）
- 主な協議事項：各担当役員・今期事業について

4) 第3回

- 開催日：令和6年4月10日
- 場所：かでの2・7（札幌市中央区北2条西7丁目）／ZOOM
- 主な協議事項：今期事業について

5) 第4回

- 開催日：令和6年5月21日
- 場所：市民ホール会議室（札幌市中央区北1条西1丁目）／ZOOM
- 主な協議事項：今期事業、次世代サミットについて 前段：農政事務所意見交換

6) 第5回

- 開催日：令和6年8月20日
- 場所：かでの2・7（札幌市中央区北2条西7丁目）／ZOOM
- 主な協議事項：下半期事業について

7) 第6回

- 開催日：令和6年11月11日
- 場所：かでの2・7（札幌市中央区北2条西7丁目）
- 主な協議事項：今期の締め方と来期に向けて 前段：道庁農政部との意見交換

(3) 会長・副会長・事務局会議

1) 第1回

○開催日：令和6年4月4日

○場所：北海道農業法人協会事務局（札幌市中央区北2条西2丁目4マルホビル6階）

○主な協議事項：次年度予算・理事会準備

2) 第2回

○開催日：令和6年5月11日

○場所：北海道農業法人協会事務局（札幌市中央区北2条西2丁目4マルホビル6階）

○主な協議内容：理事会・今期事業について

3) 第3回

○開催日：令和6年8月9日

○場所：北海道農業法人協会事務局（札幌市中央区北2条西2丁目4マルホビル6階）

○主な協議内容：理事会、周年について

4) 第4回

○開催日：令和6年11月3日

○場所：北海道農業法人協会事務局（札幌市中央区北2条西2丁目4マルホビル6階）

○主な協議内容：理事会準備・総会・次年度について

5) 第5回

○開催日：令和6年12月25日

○場所：北海道農業法人協会事務局（札幌市中央区北2条西2丁目4マルホビル6階）

○主な協議内容：事業報告、新年度事業計画、総会について

(4) 担当役員会

次世代担当委員会・女性リーダーの話を聞く会・オンライン担当役員会・収益事業検討委員会
水田部会・酪農部会・畑作園芸研究会は各理事会前に付属で必ず開催しています

3 セミナー、研究会、地域ネットワーク等連携活動

(1) のぶし経営塾等

1) 第1回のぶし経営塾「酪農部会 意見交換会」

○開催日：令和6年1月11日

○場所：JA豊頃（北海道中川郡豊頃町中央若葉町12）

2) 第2回のぶし経営塾「HACCPセミナー」【共催】

○開催日：令和6年1月22～24日

○場所：かでの2・7（札幌市中央区北2条西7丁目）

○主催：株式会社 SucSeed

3) 第3回のぶし経営塾「女性リーダーの話を聴く会」自然と調和し個性輝く持続可能な農業の未来

○開催日：令和6年1月25日

○場所：道特会館（札幌市中央区北2条西2丁目）／ZOOM

○講師：株式会社プレマフーズ 代表取締役 飯野晃子 氏

○共催：一般財団法人 HAL 財団 後援：日本政策金融公庫

- 4) 第4回のぶし経営塾「水田部会 水田Jクレジット研修会」
 - 開催日：令和6年3月28日
 - 場所：かでの2・7（札幌市中央区北2条西7丁目）
- 5) 第5回のぶし経営塾「水田部会 コメの現状と政策課題 意見交換会」
 - 開催日：令和6年6月27日
 - 場所：松崎ビル（札幌市中央区南1条西1丁目）
- 6) 第6回のぶし経営塾「酪農部会 意見交換会」
 - 開催日：令和6年7月22日
 - 場所：北海道道特会館（札幌市中央区北2条西2丁目）
 - 関係機関：農水省牛乳乳製品課須永課長・ホクレン徳田副会長・中央会小椋副会長
- 7) 第7回のぶし経営塾「水田部会 現地視察」
 - 開催日：令和6年8月19日
 - 場所：清水農園（江別市）
- 8) 第8回のぶし経営塾「水田部会 意見交換会」
 - 開催日：令和6年8月20日
 - 場所：かでの2・7（札幌市中央区北2条西7丁目）
- 9) 第9回のぶし経営塾「北海道農業MG研修」
 - 開催日：令和6年10月14・15日
 - 場所：かでの2・7（札幌市中央区北2条西7丁目）
- 10) 第10回のぶし経営塾「酪農部会 日本農業法人協会酪農研究会との意見交換会・現地研修会」
 - 開催日：令和6年10月17・18日
 - 場所：（意見交換会）サツラク農協会議室（現地研修会）株式会社Kalm角山
 - 共催：公益社団法人 日本農業法人協会
- 11) 第6回北海道次世代農業サミット
 - 開催日：令和6年11月20日
 - 場所：ホテル札幌ガーデンパレス（札幌市中央区北1条西6丁目）
 - 共催：一般財団法人 HAL 財団 後援：日本政策金融公庫
- 12) 第11回のぶし経営塾「畑作園芸研究会主催 視察研修」
 - 開催日：令和6年12月9日
 - 場所：株式会社アグリフォレストマシーン（南幌町）・株式会社三木田（長沼町）

(2) 地域団体・ネットワーク活動

- 1) 上川管内農業法人ネットワーク「特別研修会」【後援】
 - 開催日：令和6年2月28日
 - 場所：アートホテル旭川（旭川市7条通6丁目）
 - 講師：日本メイズ生産者協会 代表理事 柳原 孝二 氏
 有限会社十勝しんむら牧場 代表取締役 新村 浩隆 氏
- 2) 上川管内農業法人ネットワーク「夏季研修会」【後援】
 - 開催日：令和6年7月8日
 - 場所：アートホテル旭川（旭川市7条通6丁目）
 - 講師：株式会社ヤマザキライス 代表取締役 山崎 能央 氏

4 交流活動

(1) 国内外交流研修会

1) 道内交流研修会：『北見』

○開催日：令和6年7月12・13日

○場所：株式会社森谷ファーム・環境大善株式会社・株式会社未来ファーム

2) 国内交流研修会：2025年実施

3) 国外交流研修会：『台湾』

○開催日：令和6年1月15～18日

○場所：簗山バナナ園・初鹿牧場 他

5 専門活動

(1) 酪農部会

1) 第6回総会

○開催日：令和6年5月20日

○場所：北海道農業法人協会事務所（札幌市中央区北2条西2丁目）/ZOOM

(2) 水田部会

1) 第6回総会

○開催日：令和6年3月28日

○場所：かでの2・7（札幌市中央区北2条西7丁目）

(3) 畑作園芸研究会

1) 研究会設立

○開催日：令和6年2月21日

○場所：かでの2・7（札幌市中央区北2条西7丁目）

※意見交換会はのぶし経営塾の欄を参照

6 連携推進活動

(1) 公益社団法人日本農業法人協会

1) 総会・セミナー

i) 第46回総会・春季セミナー

○開催日：令和6年3月14・15日

○場所：AP日本橋（東京都中央区日本橋3-6-2）

○講演：「利益を出す鉄則～業務スーパー創業者が語る利益を生み出す経営論～」

○講師：(株)神戸物産（業務スーパー）創業者 沼田 昭二 氏

○分科会：政策・経営／酪農研究会

ii) 第47回総会・夏季セミナー

○開催日：令和6年6月20・21日

○場所：KFC Hall&Rooms（東京都墨田区横網1-6-1 国際ファッションセンタービル）

○講演：「リンガーハットの経営理念と野菜国産化の取り組み（仮）」

講師：株式会社リンガーハット 名誉会長 米濱 和英 氏

執行役員 購買担当 杉野 隆宏 氏

○分科会：政策・マーケティング／酪農研究会

2) 全国次世代農業サミット

i) 第12回

○開催日：令和6年2月8・9日

○場所：東京都立産業貿易センター浜松町館（東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝）

○テーマ：一日目「事業拡大に向けた資金調達・グループ運営、経営計画立案」

基調講演 株式会社日本農業 代表取締役 CEO 内藤 祥平 氏

事例報告 株式会社マイファーム 代表取締役 西辻 一真 氏

二日目「人材採用・活用に関する戦略」

基調講演 ヤマガタデザイン株式会社 代表取締役 山中 大介 氏

事例報告 ベジエイト株式会社 専務取締役 重富 裕貴 氏

ii) 第13回

○開催日：令和6年7月11・12日

○場所：JA長野県ビル アクティールホール（長野県長野市大字南長野北石堂町1177-3）

○テーマ：「時代を創る次世代農業経営」

基調講演 株式会社 アグベル 代表取締役 丸山 桂佑 氏

砂谷株式会社 副社長 久保 宏輔 氏

事例発表 やまふじぶどう園 代表 山藤 智子 氏

株式会社 ベジーツ 代表取締役 山本 裕之 氏

3) 都道府県会長会議および担当者会議

i) 第29回都道府県会長会議

○開催日：令和6年2月15日

○場所：ZOOM

ii) 都道府県農業法人組織事務局担当者会議

○開催日：令和6年4月26日

○場所：主婦会館プラザエフ（東京都千代田区六番町15）/ZOOM

iii) 第30回都道府県会長会議

○開催日：令和6年5月30日

○場所：ZOOM

4) 北海道東北ブロック連携

i) 北海道東北ブロック会議

○開催日：令和6年1月29日

○場所：オンライン

ii) 北海道東北農業法人 WEEK2024in あきた

○開催日：令和6年8月27日

○場所：ホテルメトロポリタン秋田（秋田県秋田市中通7-2-1）

○講演：「バスケットで秋田を元気に～2026年Bリーグプレミアへの展望～」

秋田ノーザンハピネッツ株式会社 代表取締役社長 水野勇氣氏

○事例報告：農事組合法人 たねっこ 代表理事 工藤修氏

(2) 行政機関・その他

1) 北海道農業・農村振興審議会

i) 令和5年度 第2回

○開催日：令和6年2月1日

○場 所：TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前（札幌市北区北4条西6丁目）

ii) 令和6年度 第1回

○開催日：令和6年8月27日

○場 所：TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前（札幌市北区北4条西6丁目）

2) 北海道農業再生協議会

i) 第1回通常総会

○開催日：令和6年8月30日

○場 所：ポールスター札幌（札幌市中央区北4条西6丁目）

3) 北海道地域農業特定技能協議会

i) 運営委員会

○開催日：令和6年9月17日

○場 所：道庁7階農政部（札幌市中央区北3条西6丁目）

4) 農業経営サポート事業

i) 事業推進連絡会議

○開催日：令和6年3月21日

○場 所：札幌駅前ビジネススペース（札幌市中央区北5条西6丁目第二道通ビル）

ii) 北海道農業経営・就農支援センター運営／経営戦略会議

○場 所：札幌駅前ビジネススペース（札幌市中央区北5条西6丁目第二道通ビル）

○開催日：

令和5年度第11回運営会議及び第10回経営戦略会議 令和6年1月24日

令和5年度第12回運営会議及び第11回経営戦略会議 令和6年2月21日

令和5年度 推進連絡会議及び第12回経営戦略会議 令和6年3月21日

令和6年度第1回運営会議及び第1回経営戦略会議 令和6年4月24日

令和6年度第2回運営会議及び第2回経営戦略会議 令和6年5月22日

令和6年度第3回運営会議及び第3回経営戦略会議 令和6年6月26日

令和6年度第4回運営会議及び第4回経営戦略会議 令和6年7月24日

令和6年度第5回運営会議及び第5回経営戦略会議 令和6年8月21日

令和6年度第6回運営会議及び第6回経営戦略会議 令和6年9月25日

令和6年度第7回運営会議及び第7回経営戦略会議 令和6年10月23日

令和6年度第8回運営会議及び第8回経営戦略会議 令和6年11月20日

令和6年度第9回運営会議及び第9回経営戦略会議 令和6年12月23日

(3) 事業協賛

1) 創地農業21（ファームエイジ）

第46回グラスファーマーミングスクール

『少ない労働時間で、より豊かな暮らしを』

○開催日：令和6年9月3～5日

○場 所：坂根牧場（大樹町）・ゼンキュウファーム（広尾町）

(4) 事業後援、協力

1) 【後援】スマート農業共同体（通称：SAc）・マイナビ農業
「北海道スマート農業 SUMMIT」

○開催日：令和6年11月26日

○場所：アクセスサッポロ（札幌市白石区流通センター4丁目3-55）

令和6年収支決算

自 令和 6年 1月 1日
至 令和 6年12月31日

貸借対照表 令和6年12月31日 現在

(単位：円)

科 目	R 6 年 度	R 5 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
普通預金	15,159,163	14,359,745	799,418
未収金	160,000	500,000	△ 340,000
前払費用	0	0	0
立替金	0	0	0
流動資産合計	15,319,163	14,859,745	459,418
2. 固定資産			0
(1)基本財産			0
基本財産合計			0
(2)特定資産			0
特定資産合計			0
(3)その他固定資産(敷金)			0
その他固定資産合計	330,000	330,000	0
固定資産合計	330,000	330,000	0
資産合計	15,649,163	15,189,745	459,418
II 負債の部			0
1. 流動負債			0
未払金	0	0	0
未払費用	0	0	0
前受金	230,000	180,000	50,000
預り金	0	0	0
仮受金	0	130,000	△ 130,000
リース債務	0	0	0
賞与引当金	0	0	0
流動負債合計	230,000	310,000	△ 80,000
2. 固定負債			0
固定負債合計			0
負債合計	230,000	310,000	△ 80,000
III 正味財産の部			0
1. 指定正味財産			0
2. 一般正味財産	15,419,163	14,879,745	539,418
正味財産合計	15,419,163	14,879,745	539,418
負債及び正味財産合計	15,649,163	15,189,745	459,418

※未収金は未納会員、または納入せず退会した会員の会費です

正味財産増減計算書

令和6年1月1日から令和6年12月31日まで

(単位：円)

科 目	R 6年度	R 5年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	8,960,000	8,870,000	90,000
賛助会員受取会費	300,000	300,000	0
HSC会員受取会費	3,350,000	3,449,340	△ 99,340
補助金収入			0
民間助成金収益	3,196,409	4,898,390	△ 1,701,981
雑収益			0
雑収益	431,976	11,647	420,329
セミナー事業収入	1,630,461	1,471,610	158,851
特別収益	0	609,750	△ 609,750
経常収益計	17,868,846	19,610,737	△ 1,741,891
(2) 経常費用			0
管理費			0
役員報酬		0	0
給料手当	6,230,169	5,995,080	235,089
法定福利費	0	234,030	△ 234,030
旅費交通費	641,697	541,003	100,694
通信運搬費	503,357	861,051	△ 357,694
消耗印刷備品費	205,115	316,932	△ 111,817
賃借料	1,404,290	632,230	772,060
租税公課	71,050	81,050	△ 10,000
会議費	1,887,213	2,637,838	△ 750,625
雑費	308,327	113,891	194,436
委託費	612,387	462,373	150,014
貸倒損失	280,000	710,000	△ 430,000
管理費計	12,143,605	12,585,478	△ 441,873
事業費			0
支払助成金		50,000	△ 50,000
オンライン推進活動費	400,468	322,110	78,358
酪農部会活動費	455,510	10,000	445,510
水田部会活動費	292,649	156,420	136,229
政策提言活動費	302,480	72,620	229,860
情報活動費	14,000	14,000	0
連携推進費	391,218	1,466,399	△ 1,075,181
セミナー活動費	3,329,498	3,828,847	△ 499,349
事業費計	5,185,823	5,920,396	△ 734,573
経常費用計	17,329,428	18,505,874	△ 1,176,446
評価損益等調整前当期経常増減額	539,418	1,104,863	△ 565,445
当期経常増減額	539,418	1,104,863	△ 565,445
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	539,418	1,104,863	△ 565,445
当期一般正味財産増減額	539,418	1,104,863	△ 565,445
一般正味財産期首残高	14,879,745	13,774,882	1,104,863
一般正味財産期末残高	15,419,163	14,879,745	539,418
II 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額	0		0
指定正味財産期首残高	0		0
指定正味財産期末残高	0		0
III 正味財産期末残高	15,419,163	14,879,745	539,418

監査報告

令和6年度北海道農業法人協会の会計収支について、その内容を監査した結果、その
使途、帳簿、証拠書類等、適正であると認める。

令和 7年 1月5日

監事

斎藤ファーム

斎藤 雅 紀



監事

株式会社 森谷ファーム

森 谷 裕 美



一般社団法人北海道農業法人協会 第30回会員総会 議案第2号
令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）の設定について

別紙、令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）について決定を求める。

以上提出する。

令和7年 2月10日

一般社団法人北海道農業法人協会
代表理事会長 藤城 正興

令和7年度事業計画(案)

1 新年度事業の基本方針

昨年5月に改正された食料・農業・農村基本法が具体化される本年は、今後の農業に対する国の方針が示される大きな転換の年となります。その中で北海道農業が日本の食料基地を担う大変重要な役割を果たしているのは言うまでもなく、「生産者による、生産者のための、生産者に一番近い」法人協会が求められる役割が今よりもっと大きくなると考えられます。

資源価格の高止まりや気候変動による栽培品目の多様化、労働力や人材の不足、海外情勢の不安定や物流の問題など喫緊の課題は多角化している中、いつの時代も変化に対応できる経営体であることが、産業として生き残る事に繋がります。その基盤を支えより強固なものにするため、意見交換等により関係各所と情報を共有し、連携を図りながら政策提言に繋げることで、会員の皆様の求める組織に近づけるよう、30周年を機に更なる農業の発展を目指し以下のことを活動計画として取り組みます。

(1) 経営の強化に資する研修機会の提供と経営サポート

個人・法人や地域が抱える組織・人材・資金・コンプライアンスなど、日々直面する経営課題に対し、将来的な経営方針を決定する上で必要な経営環境に対する情報提供及び、担い手の育成や新たなビジネス機会に関する知識習得など、会員の経営改善、意欲向上に繋がる効果的な研修機会を提供する。また、北海道農業経営相談所とも連携し会員の経営サポートを図る。

(2) 人材の発掘・育成

関係機関と連携しながら、これからの農業に不可欠なスキルを有する人材の発掘やマッチング機能の強化を図る。また、就農者の決断の後押しに求められる雇用環境の整備への気運を高めるとともに、引き続き各種支援施策の活用を図り、着実な雇用の促進を図る。さらに、担い手や社員にも教育・研修の場を提供し、モチベーションの向上により経営発展に寄与できるようにしていく。

(3) 会員ニーズに対応した情報の提供、共有、政策発信

農業や地域の創生に向けた地域ネットワークやそれに準ずる団体の活動を支援し、役員が中心となって各地域、業種に応じた会員法人の運営実務の実態を把握する。個々の関心等に応じて無理なく参加できる段階的なステージを考慮し、オンラインも活用したりリモート研修の実施、関係機関やサポータークラブ会員などと連携し円滑で開かれた活動環境を実現する。さらに、消費者や関係機関との信頼関係向上を図り、必要な政策提言を協議し、要求実現を目指す。

(4) 女性の参画推進

農村・農業・食を守り地域住民や消費者とのつながりを豊かに育み、生産者として果たしている役割に関しても正当な評価を推進する。多角的で柔軟な発想や視点を、地域の核となるべき会員の経営、ひいては地域運営の発展に反映させるために、協会役員は女性の登用も積極的に行う。

(5) 組織づくりと会員拡大

道内の農業者の中には協会の存在や取組を知らない人も多く、道庁、農業協同組合組織、各地域の行政機関や組織、HAL 財団、HALGREEN、サポーター企業会員と連携し積極的なPRに努める。各地域の任意法人組織については、農業や地域の創生に向けた地域ネットワークの活動として支援をすると共に当会の地域支部としての役割を担うことを目指す。これにより会員新規入会を促進し組織を拡充する。

2 事業計画

(1) 会議の実施

1) 30 回記念総会ならびに創立 30 周年記念セミナーの実施

総会とともに年に一度、全道から会員が一堂に会するこの機会を生かし、学識者、企業経営者等から今後の農業経営に求められる経営手法に関する研鑽を図る。

2) 理事会ならびに担当活動の実施

理事会等での決定事項や外部からの要請事項への対処のほか、会員が求める情報にきめ細かな対応を図るため、理事及び会員有志の希望による「担当制」による運営を行う。

イ) 会長・副会長会議の開催	随時
ロ) 理事会の開催	年 3 回以上
ハ) 担当役員会の開催	随時
二) 監事会の開催	年 1 回

(2) 部会・専門活動の展開

1) 政策提言委員会

北海道の農業に及ぼす影響が他府県よりもより深刻な問題として顕在化してきており、今後これらの課題解決のために全力で取り組むために、国や議員に対して政策提言を行うための活動を実施する。

2) 専門部会の活動

従前からある水田・酪農部会、畑作園芸研究会の活動をより活発化するとともに、未来の農業に対する応援団づくりとして食農教育・地域貢献に関する活動も行うための専門委員会を新たに設置する。

3) 女性参画委員会の実施

男女平等に参加しやすい組織であるために必要な事項を協議し、女性の発想、視点も取り入れた組織運営、さらにはそれらの効果を各会員法人の経営に反映させていくための活動を関連団体との連携を取りながら実施する。

(3) セミナー&イベント活動

1) のぶし経営塾の展開

農業政策に対する情報や経営の土台部分に相当する問題（財務、人事労務、法務等）や6次産業化を含む技術、マーケティング、組織管理、リスク管理、経営継承、地域問題に加え将来的な北海道農業を取り巻くエネルギー資源に対する課題、輸出を含む海外展開など、会員が抱えるあらゆる問題や北海道農業の展望に対して課題を共有し、解決のヒントを探る研修会やオンライン交流、会員が運営する農場での現地視察等を実施する。

2) 北海道次世代農業サミット

若手経営者や次世代の担い手候補だけでなく、従業員も含めて情報交換し、切磋琢磨し合えるイベントを開催する。また、イベントを通じ、若い世代の会員の協会活動参加を促すと同時に、異業種会員や関係機関にとっての交流機会と勉強の場を提供する。

3) 周年記念の開催

2025年が「30回記念総会」になるため、記念となるような総会とセミナーを開催する。

4) 北海道・東北農業法人 WEEK の共催

北海道並びに東北6県の法人協会により開催している『北海道・東北農業法人 WEEK』は今年青森県での開催となる。普段交流の少ない東北生産者との交流が持て、視察を行える場であるので、道協会会員にも積極的な参加を促す。

(4) 交流活動の展開

1) 道内・国内・海外視察交流会の実施

会員経営者や従業員の懇親を深めるとともに、領域にとらわれることなく、北海道農業の将来に参考となりうる国内外の状況について学ぶ。

(5) 人材確保・育成活動の実施

1) 担い手の育成強化

農業経営者の育成は大きな課題であり、企業的经营者の集まりである協会が果たすべき期待も大きい。当協会として各会員が指定する担い手を経営者としての育成する仕組みを構築し、各研修会への参加費補助や交流会の実施などを行う。

2) 人材確保活動へのサポート

イ) 大学、専門学校等の教育機関ならびに求人業務を手掛けるサポータークラブ会員との連携により、農業を目指す多様なスキルを有する人材の発掘や、法人情報や現地確認の機会を提供し、農場側のニーズを踏まえたマッチングを促進する。

ロ) 全国農業会議所や日本農業法人協会が実施するインターンシップ制度を活用しつつ、道内大学や専門学校、協力法人、地域と連携した独自展開を検討し、意欲ある学生が農業やアグリビジネスを研修できる環境を整備する。

ハ) 外国人技能実習等の積極的活用を行えるように情報提供や勉強の場を提供する。

(6) 組織・情報基盤の整備・充実

1) 協会活動の発信

各種会議や研修活動、経営情報等を周知する。ホームページに会員限定でセミナー等のアーカイブ等を掲載して情報共有するとともに、新聞や雑誌などの媒体の協力も得ながら積極的な“見える化”の推進を図る。

また、会員へ情報提供方法の最適化し一層の情報伝達を実現するため、従来から実施しているFAXや郵送による情報提供のほか、メール環境にない会員法人に働きかけ、メールアドレスの取得やSNSの利用方法の周知・徹底を図る。

2) 新規会員入会の促進

一連のセミナー等の協会活動や北海道農業会議をはじめとする行政機関などを通じた幅広いPR活動により、新規会員の入会を強力に推進していく。また、北海道農業の活性化に意欲ある企業へのPRを進め、サポータークラブ会員への加入を図る。

3) サポータークラブ会員との交流

連携を促進し、農業経営基盤に不可欠な人脈形成やノウハウ・資金の誘導を図るとともに、ビジネス開発などにつながる対話や情報取得にも積極的に取り組む。オンライン交流も活用し、新技術や商品の紹介等、営業促進環境を提供する。

(7) 連携の推進

1) 行政や関係機関等との連携推進

北海道農業再生協議会や北海道農業経営相談所、北海道地域特定技能協議会運営委員会の活動に加え、政策、制度、助成、マーケティング情報等の多様な情報の安定的な取得に向け、国や道など関係機関等との連携を図り、イベントに対する共催・後援・協力を行う。

また、農業の基層をなす農協系統との情報交換を通じ、地域における法人経営の支援や安定化に資する環境づくりを促進する。

2) 地域の法人ネットワークへの協力

内外のネットワークを活用し、会員の派遣による地域法人交流等への支援、サポーター企業との交流促進、その他、会員はもとより地域や法人グループのニーズに応える各種勉強会等の開催に対して協力を行う。

イ) 各地域ブロック単位での法人交流を図る「法人セミナー」の開催（各所）

ロ) 各地域でのネットワーク化に対する活動への協力

ハ) 各地域でネットワークの役割を担う団体との連携協力

3) 公益社団法人日本農業法人協会との連携推進

公益社団法人日本農業法人協会と連携して、北海道では入手困難な情報の収集や国への政策提言、全国版次世代農業サミットやファーマーズ&キッズフェスタを通し全国の農業経営者との交流を行い、当協会会員のより一層の経営向上や革新を促進する。

令和7事業年度収支予算(案)

		1月1日～12月31日 (単位:円)			
		R7年度	R6年度		
大科目	中科目	予算(A)	予算(B)	増減(A-B)	摘 要
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
1) 受取会費					
	正会員受取会費	9,000,000	8,700,000	300,000	3万円×300会員
	賛助会員受取会費	300,000	300,000	0	10万円×3会員
	HSC会員受取会費	3,500,000	3,500,000	0	5万円×70会員
2) 補助金収入					
	民間助成金収益	3,000,000	3,150,000	-150,000	日本公庫・HAL財団・農林中金
3) 雑収益					
	受取利息	0	0	0	
	セミナー事業収入	3,500,000	3,500,000	0	
	雑収益	0	0	0	
	広告収益	0	0	0	
経常収益計		19,300,000	19,150,000	150,000	
(2) 経常費用					
1) 管理費					
	役員報酬	0	0	0	
	給料手当	7,000,000	7,000,000	0	事務員人件費
	法定福利費	200,000	400,000	-200,000	
	通信運搬費	600,000	700,000	-100,000	
	会議費	1,500,000	1,000,000	500,000	総会・理事会
	旅費交通費	650,000	600,000	50,000	
	消耗印刷備品費	250,000	300,000	-50,000	事務備品
	光熱水料費	0	0	0	賃借料を含む
	賃借料	1,400,000	1,400,000	0	事務所賃借料
	租税公課	100,000	100,000	0	
	雑費	150,000	150,000	0	振込手数料・交際費
	委託費	800,000	800,000	0	会計事務所、須田製版他
管理費計		12,650,000	12,450,000	200,000	
2) 事業費					
	オンライン推進活動費	400,000	400,000	0	オンライン会議・セミナー
	酪農部会活動費	300,000	300,000	0	
	水田部会活動費	300,000	300,000	0	
	専門委員活動費	300,000	300,000	0	
	情報活動費	400,000	400,000	0	協会広告推進・名簿更新
	連携推進費	500,000	500,000	0	地域ネット・Week連携
	セミナー活動費	4,000,000	4,500,000	-500,000	
	周年記念事業費	2,000,000	0	2,000,000	
事業費計		8,200,000	6,700,000	1,500,000	
経常費用計		20,850,000	19,150,000	1,700,000	
当期経常増減額		-1,550,000	0	-1,550,000	
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計					
(2) 経常外費用					
経常外費用計					
当期経常外増減額					
	税引前当期一般正味財産増減額	-1,550,000	0	-1,550,000	
	当期一般正味財産増減額	-1,550,000	0	-1,550,000	
	一般正味財産期首残高	9,072,633	9,072,633	0	前期繰り越し
	一般正味財産期末残高	7,522,633	9,072,633	-1,550,000	
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額					
指定正味財産期首残高					
指定正味財産期末残高					
III 正味財産期末残高					
		7,522,633	9,072,633	-1,550,000	

一般社団法人北海道農業法人協会 第30回会員総会 議案第3号
令和7年度会費の賦課及び徴収方法について

別紙、令和7年度会費の賦課及び徴収方法について決定を求める。

以上提出する。

令和7年 2月10日

一般社団法人 北海道農業法人協会
代表理事会長 藤城 正興

令和7年度会費の賦課及び徴収方法

1. 会費

(1) 正会員	年会費	30,000円
正会員（新規就農）	年会費	10,000円
(2) 賛助会員	年会費	100,000円
(3) サポータークラブ会員	年会費	50,000円/口

2. 賦課対象会員

全会員とする。ただし、11月1日以降に入会した新規会員は、その年次の会費について免除とする。

3. 会費振込先

- (1) 納入期日 令和7年5月31日
- (2) 振込手数料 会員の負担とする。
- (3) 取扱金融機関

■ゆうちょ銀行

口座番号 02760-8-100360

一般社団法人 北海道農業法人協会

※請求書とともに郵便払込用紙を同封する。

ゆうちょ銀行に他の金融機関からの振込用口座番号

店番号 279

当座 口座番号 0100360

■北海道信用農業協同組合連合会 本所

金融機関番号・店舗番号 3001-820

普通 口座番号 1426306

一般社団法人北海道農業法人協会 会長 藤城正興

(イハッソジャダッソホウジッソホッカイトウノウキョウホウジッソキョウカカイヤウフジキマサキ)

第 15 期 理 事 名 簿

会 長	藤城 正興	(株)輝楽里 江別市
副会長	菅原 謙二	(農)西上経営組合 鹿追町
副会長	平賀 農	(株)風のがっこう 伊達市・札幌市
副会長	川口谷 仁	(株)Kalm角山 江別市
理事	走出 邦章	(有)ファームトピア 蘭越町
理事	井下 英透	(株)Jリード 豊頃町
理事	島崎 みゆき	(有)ジェイファームシマザキ 別海町
理事	弦間 秀子	(農)シレットコイオン生産組合 斜里町
理事	菅原 友美	(有)菅原農場 深川市
理事	請川 幹恭	(株)うけがわファーム DEN-EN 旭川市
理事	中山 裕史	(農)ぴりかファーム 今金町
理事	佐々木 大輔	(有)希望農場 中標津町
理事	松村 孟	(有)パインランドデーリィ 興部町
監事	斎藤 雅紀	斎藤ファーム 旭川市
監事	森谷 裕美	(株)森谷ファーム 北見市
顧問	小椋 幸男	(有)ドリームヒル 上士幌町
参与	東條 真澄	(有)東條産業 倶知安町
参与	堀江 英一	(株)もち米の里ふうれん特産館 名寄市
相談役	中島 和彦	(株)北海道銀行

植物の免疫力向上に バイオスティミュラント

オールマイティ
リダバイタル

花・実ものに
アルガミックス

養液土耕・苗・直播に
フルボディ

北の大地を21世紀に活かす

(株)日の丸産業社

TEL: 011-862-7471 FAX: 011-863-4480



AGRIDOC アグリドック®

【お奨めの有機肥料】

【お問合せ先】

(株)アグリドック 東京オフィス

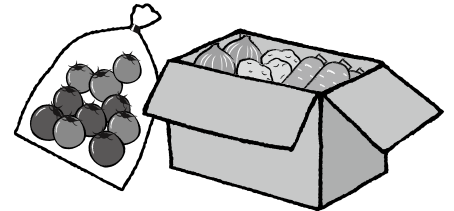
TEL 03-5216-6620



品名	形状	N	P	K	備考
HAL有機741	ペレット	7	4	1	有機由来窒素100%含有
HAL有機825	ペレット	8	12	5	有機由来窒素50%含有
ADオーガニック662	ペレット	6	6	2	有機JAS適合資材
地拘有機エキス	液肥	3	1	1	有機JAS適合資材
粒状かきエース	粒状	アルカリ46%			粒状カキガラ
かきエースフミン	粒状	アルカリ41%			カキガラ+腐植酸10%
サニーオイスター	粒状	アルカリ44%			カキガラ+地拘有機エキス5%

KYOKUSO
株式会社 旭創

〒078-8214
北海道旭川市4条通22丁目5-182
TEL 0166-37-5858
FAX 0166-37-5833
<https://kyokuso-inc.com/>



パッケージデザインをはじめ、包装・梱包資材などを幅広く取り扱う会社です。
旭川を中心に全道各地のお客様をフォローさせていただいております。
「どう包装すればいいの?」「オリジナルデザインを考えたい」などお客様のご要望を
カタチに変えます。ぜひお気軽にお問い合わせください。



北海道農業の発展に
貢献する税理士

森下 浩
Morishita Hiroshi

認定経営革新等支援機関
税理士法人アンビシャス・パートナーズ 代表社員
ラ・ファーム農業経営パートナーズ(株) 代表取締役

〒004-0004 北海道札幌市厚別区厚別東4条4丁目9-1
TEL: 011-398-4736 FAX: 011-398-4738



『北海道を農業を支えたい』
税理士法人アンビシャス・パートナーズは、税務・会計を中心に、
農業経営をトータル的にサポート
します。

確定申告・税務相談、農業法人
設立、相続・事業承継、各種セミ
ナー、喜んで承ります。

お気軽にお問い合わせください。
TEL: 011-398-4736

✉: info-ambitious@tkcnf.or.jp
<http://agri-ambitious.tkcfnf.com/>

わたしたちは環境とエコロジーを考えています。

包装資材・容器の総合メーカー



東北容器工業株式会社

代表取締役 辻 啓史

青森県八戸市北インター工業団地四丁目2番7号
TEL.0178-21-1400 FAX.0178-29-2730
営業所 青森・弘前・函館・盛岡・宮古・大船渡・気仙沼



パッケージをシステムでお届けします。

段ボールケース
ラベル・シール
ポリエチレン
発泡スチロール
各種包装用機械
各種成形容器
各種包装資材

北海道農業を応援します！

日本の食を支える農業者の皆様を融資や多様な経営支援サービスにより応援します。
詳しくはお近くの道内各支店農林水産事業までご相談ください。

支店	所管地域	所在地（お問い合わせ先）
札幌支店	空知・石狩・後志・胆振・日高・渡島・檜山 上川・留萌・宗谷	札幌市中央区北1条西2-2-2 北海道経済センタービル4階 TEL 011-251-1261
北見支店	オホーツク	北見市幸町1-2-22 TEL 0157-61-8212
帯広支店	十勝・釧路・根室	帯広市大通南9-4 帯広大通ビル3階 TEL 0155-27-4011



日本政策金融公庫

北海道銀行では、専門部署「アグリビジネス推進室」を設置し、農業経営や金融アドバイス、6次産業化や付加価値づくりの支援、異業種の農業参入支援等、農業分野・食関連分野に関する様々なサポートを行います。



北海道銀行



お問い合わせ先

株式会社 北海道銀行 アグリビジネス推進室

TEL : 011-233-1066 FAX : 011-231-6998

チョウ目害虫防除に！



特設サイト
公開中!

防除のポイントと効果の様子
を動画でご覧頂けます

フェニックス特設サイト

検索

<https://www.nichino.co.jp/products/phoenix10th.html>



殺虫剤

フェニックス®

顆粒水和剤

フォアブル

70以上の作物に登録。
幅広く使えて、
効きめが長く続く！



果樹・茶のチョウ目害虫、
枝幹害虫の防除にも
(ヒメボクトウ、フタモンマダラメイガ等)

フェニックス普及会

日本曹達株式会社 事務局 日本農業株式会社

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。



農家をもっと豊かに

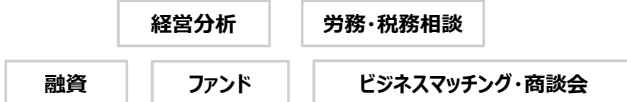
W. マイナビ 農業

JAバンク 北海道

農業法人さまの課題やニーズに応じた提案を行い、北海道農業をサポートします！



©よりぞう



詳しくは、お近くのJA窓口、またはJA北海道信連農業融資部（011-232-6027）までお問い合わせください。

\\ 北海道で「たのしくはたらく」をいっぱい //

アルバイト・パート募集

シゴトガイド

道内全エリアをカバーする、地域に根ざした総合求人メディア

正社員募集

シゴトキタ

正社員志向の高い、北海道で働きたい人のための転職・就職・適職求人メディア

新卒採用

シゴトキタ 就活

地元・北海道で就職したい学生のための就職情報メディア

HAI 株式会社 北海道アルバイト情報社 TEL: 011-223-3912 Email: info@haj.co.jp

だから、経営者の力になりたい。

時代が進んでも、経営者が孤独であることはいつの時代も変わらない。
しかし、経済を支えているのは企業経営者だ。
だからこそ、私たちはお客様の経営に寄り添い、
社長の夢を叶えるお手伝いをしたい。



IKEWAKI TAX, ACCOUNTING & CONSULTANTS GROUP

～事業承継・相続対策、労務相談等の経営支援、M&A支援など、お気軽にご相談ください～

ITACグループ

税理士法人池協会計事務所 池協社会保険労務士法人

住所：札幌市中央区南12条西15丁目4-3 TEL：011-561-5000

ロ・BASF

We create chemistry

 つくる、たべる、つなぐ
HAL GREEN


SucSeed

持続可能な農業をデザインする

サクシード株式会社
<https://www.sucseed.co.jp>



GLOBALG.A.P.

小麦(秋播栽培)用除草剤

キタシーブ®フロアブル

スズメノカタビラに勝つ。

秋播小麦の各種雑草対策に。





魅力的な世界へひとつ飛び



カタチにする

旅の想いを



お得な情報が満載! <https://www.nta.co.jp/hokkaido/>



本社 ☎011-208-0150
札幌支店(法人) ☎011-208-0170
札幌支店(教育) ☎011-208-0176

釧路支店 ☎0154-99-9460
帯広支店 ☎0155-23-9294
北見支店 ☎0157-23-2228

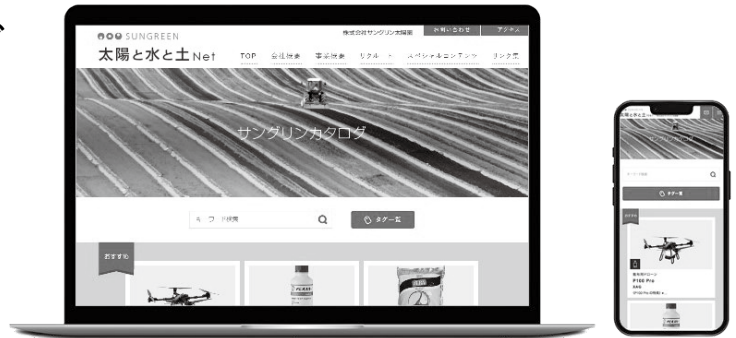
旭川支店 ☎0166-26-0401
小樽支店 ☎0134-33-4455
苫小牧支店 ☎0144-32-6467

函館支店 ☎0138-62-3770
前1条メディア販売センター(店頭) ☎011-208-0171
(WEB) ☎011-219-6130

SUNGREEN

掲載点数 **1,100** 点以上! 見どころ満載! /
サン格林太陽園 Webカタログ

- ☑ 気になる資材がすぐに見つかる!
- ☑ 写真や動画を豊富に掲載!
- ☑ スマホでも見やすい!



登録ワーカー
600万人超

スキマバイトサービス
Timeeなら 農作業や選果場の働き手がすぐ見つかる!

すぐに人手が集まる

前日の求人掲載や、中山間地域でも
ワーカー確保実績多数!

※登録ワーカー数は 202310 月現在

必要な時だけ 1 時間から

午前中だけ、農繁期だけなど
最短 1 時間から求人掲載可能。

引き抜き自由 長期人材確保

お気に入りワーカーと直接交渉し、
御社の定番人材として長期採用OK!
なんと、引き抜き手数料は無料!



- ☑ 掲載費用 **0** 円!
- ☑ 初期費用 **0** 円!
- ☑ 月額費用 **0** 円!



持続的な農業と、安心安全な食生活のために。

株式会社 **コハタ**

本社(旭川) Tel 0166-48-0136 帯広営業所 Tel 0155-29-1151
 札幌支店 Tel 011-862-7861 道南営業所(函館) Tel 0138-49-3851
 道北営業所(旭川) Tel 0166-48-2868 岩見沢営業所 Tel 01267-4-2525
 札幌営業所 Tel 011-862-7411
 北見営業所 Tel 0157-23-7661
 俱知安営業所 Tel 0136-22-1186

コハタホームページは
こちらのQRコードから



●農業・酪農を応援する月刊誌・日刊紙・書籍を発行しています●

世界の酪農を知り、世界の酪農とともに前進しよう！

農業をリードする北海道の専門誌

農政・JA等の動向や情報を電子版で迅速に提供

DAIRYMAN
ニューカントリー
北海協同組合通信

デーリィマンが厳選した酪農用品

デーリィマン社 事業販売部

FAX.011-271-5515

フリーダイヤル ☎ **0120-369-037**

※土・日・祝日は休業です。※ホームページからもご注文が可能です。

デーリィマン社

株式会社 **北海道協同組合通信社**

一お問い合わせは下記へー

☎ **011(209)1003** FAX **011(271)5515**

E-Mail: kanri@dairyman.co.jp

<https://dairyman-ec.com/>

※ホームページからも雑誌・書籍の注文が可能です。

私どもは、経営者の最良のパートナーとして企業繁栄のために持てる能力の総てを提供します。

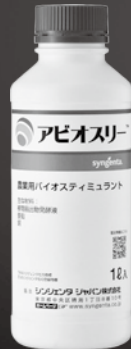


- ◆旭川本店◆ 旭川市曙1条6丁目1-5 TEL:(0166)24-5166
- ◆名寄支店◆ 名寄市西12条南1丁目2 TEL:(01654)3-7908
- ◆札幌支店◆ 札幌市東区北41条東15丁目2-12 TEL:(011)743-4680

シンジェンタのバイオスティミュラント

環境の変化を共に乗り越える

シン常識。
シン提案。
シン発想。



環境ストレスに強い作物へ導く新提案

省力的な散布方法にも対応する新発想



養分の利用効率を上げる新常識

グリーンデクラブ LINEともだち募集中！

作物生産に関わる最新情報をタイムリーにお届け！



●使用前にはラベルをよく読んでください。●農地・作物への施用以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空容器・空袋等は圃場などに放置せず適切に処理してください。

本製品をご使用の際は、ご購入先、または当社ウェブサイトなどで最新の製品情報をご確認ください。

シンジェンタ ジャパン株式会社
〒104-6021 東京都中央区晴海1-8-10 オフィスタワーX21階
www.syngenta.co.jp ⑧はシンジェンタ社の登録商標

アビオスリー syngenta.

Leading You Forward

私たちは、法の支配を礎とする豊かで公正な社会を実現することを基本使命に、すべての関係者の皆様に「Leading You Forward」をお約束し、クライアントと社会の発展に貢献してまいります。

800+ Professionals*

22+ Offices

*一部の提携事務所およびアライアンス事務所を含む

NISHIMURA & ASAHI

Tokyo / Osaka / Nagoya / Fukuoka / Sapporo Bangkok Brussels*³ Dubai Frankfurt / Düsseldorf Hanoi / Ho Chi Minh City
Hong Kong*² Jakarta*¹ Kuala Lumpur*¹ London*³ Manila*¹ New York Shanghai Singapore Taipei Yangon



*¹ Associate offices *² Opening by the end of 2024 *³ Opening in 2025

農業・食産業の持続的発展、地域活性化を支援

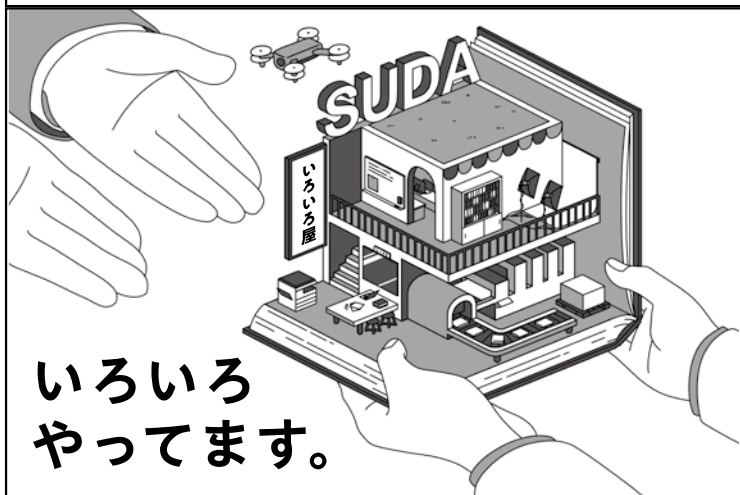
北洋銀行は、お客さまや地域の
多様な課題の解決に向け最善
の提案で、北海道の強みである
農業・食産業を全力で応援します！



北洋銀行



お問い合わせ先：公金・地域産業支援部
札幌市中央区大通西3丁目7番地
電話 (011) 261-1321 FAX (011) 261-1356



いろいろ
やっています。

私たち須田製版は常に変化し続けるニーズに対応する
確かな技術と提案でみなさまの想いを「つなぐ」お手伝いをいたします。

TOTAL PRINTING

株式会社 須田製版

グループ会社
有限会社 **シグナル**
登録中央広域版

札幌本社：札幌市西区二十四軒2条6丁目1番8号
TEL.011-621-1000 FAX.011-621-1500

・旭川支社・東京支店
・釧路支店・滝川営業所
・苫小牧支店・北見営業所



<https://www.suda.co.jp>



ECサイト



NORTH PAPER



Instagram